



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

VOD-01「患者にとって確率は何を意味するか？」

【講師】

名郷 直樹（医療法人社団実幸会 武蔵国分寺公園クリニック）

「あなたが降圧薬を飲まない場合、5年以内に脳卒中になる確率は10%ですが、降圧薬を飲んだ場合、6%にまで小さくなります」というような説明は、個別の患者において、どういう意味を持つのだろうか。あるいは何を意味するのだろうか。

さらに「あなたが5年以上生存できる可能性は40%です」というのはどうだろうか。そもそもこの状況は確率を使って表現するようなものなのだろうか。そうでないとすれば、確率以外の方法にどんなものがあるのだろうか。

ガイドラインは確率を使わず、「この治療を強く推奨する」という。しかし、これは最低という気がする。

論文の情報を媒介にして、患者と相談することは思いのほかむづかしい。むしろ情報がないほうが簡単かもしれない。この困難さについて考えるきっかけを提供したい。